

三条市子ども・若者総合サポートシステム
平成 28 年度活動実績・平成 29 年度活動計画
【障 がい 支 援 部 会】

《平成 28 年度活動実績》

1 障がい支援部会 対象者の把握状況と対応

(1) 把握件数（平成 29 年 3 月末現在）

622 人（再：就学後 425 人 就学前 197 人）

(2) 「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数

68 人

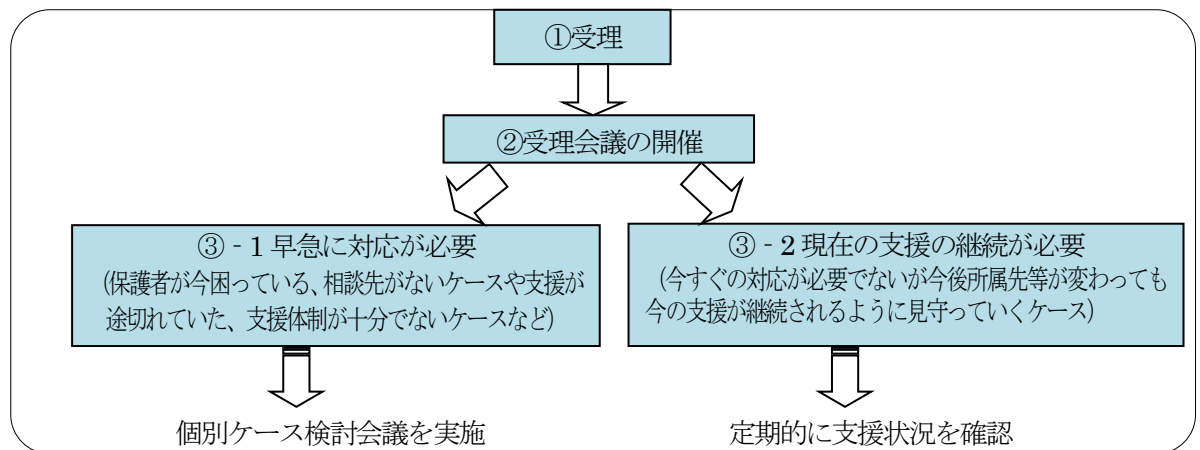
（参考 1）平成 29 年度特別支援学級に在籍する児童生徒数ならびに学級数

学級種別	市内小学校		市内中学校		計	
	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数
知的障害学級	21	95	11	41	32	136
自閉・情緒障害学級	25	114	10	39	35	153
その他〈肢体不自由・病虚弱〉	2	5	2	3	4	8
合 計	48	214	23	83	71	297

（参考 2）平成 28 年度通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒数

問題項目	市内小学 校		市内中学 校		計		国の平均 %
	人	%	人	%	人	%	
学習面か行動面で著しい困難を示す	437	9.3	79	3.2	516	7.2	6.5
学習面で著しい困難を示す	250	5.3	49	2.0	299	4.1	4.5
行動面で著しい困難を示す	285	6.1	59	2.4	344	4.8	3.6
学習面と行動面ともに著しい困難を示す	88	2.1	29	1.2	127	1.8	1.6

(3) 「個人情報の取扱いに関する同意書」受理後の対応



※同意が無い「障がい」把握者への支援

乳幼児の場合 → 保健師や保育所（園）、幼稚園の保育士等の支援

小中学生の場合 → 学校での通常支援及び、通級指導教室（裏館小学校・長沢小学校）や市が委嘱した特別支援学校職員による専門指導員の巡回支援等

2 障がい支援部会 会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加機関数
実務者会議	第1回	9月27日	三条市役所 栄庁舎	障がい支援に向けて、保護者支援のあり方について検討	12機関

3 研修会・講演会

会議名	月 日	場 所	内 容 等	参加人数
発達応援セミナー （発達応援講演会）	第1回 7月29日	総合福祉センター	演 題：「LD傾向がある児童生徒の指導と配慮」 ～読み書きの苦手を示す児童生徒の理解と支援～ 講 師：東京学芸大学 教授 小池 敏英 氏 対象者：小・中・特別支援学校教職員、幼稚園・保育所（園）職員、行政関係者	243 人
	第2回 2月25日	栄庁舎	演 題：「発達障がいかもしれない 葛藤する日々の振りかえりから」～当事者の心の悩みを理解しよう、寄り添うために～ 講 師：新潟お笑い集団NAMARA 代表 江口 歩さん、金子 ボボさん 対象者：市民	90 人

専 門 研修会	12月19日	栄庁舎	講 義：「三条市の障がい福祉施策の概要について」 説明者：三条市福祉保健部福祉課 事業所見学：(1) 株式会社アイエスエフネットライフ (2) 障がい者居住支援拠点施設長久の家 対象者：小中学校教職員、市内高等学校、保育園（所）・ 幼稚園職員、支援機関職員等	25 人
------------	--------	-----	--	------

4 成果、課題等

成果	課題等
専門研修会では、若者支援部会と合同で、三条市の障がい福祉施策、就労支援、相談事業の実態を学んだ。高等学校や高等部卒業後の障がいのある子どもの就労支援や自立支援の現場を見学することにより、学校教育終了後の、それぞれのライフステージに合わせた具体的な支援のあり方を学ぶことができ、関係職員の進路指導の参考となった。 発達応援セミナーでは、障がい特性の捉え方、障がいから生ずる困難を克服するための指導や支援の方法、周囲の接し方など、支援者のあり方や方法を学ぶ機会となり、今後の支援に参考になるものであった。	学習上、生活上の困難を克服するための知識、技能を高める自立活動の視点での指導、支援のあり方を支援者が研修し、特別支援教育に関する専門性を高める必要がある。

《平成 29 年度活動計画》

1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者会議	第 1 回	8 月	三条市役所 栄庁舎	発達障がい支援体制について（仮）
個別ケース検討会議	随時	支援体制の検討が必要なケースについて関係者で検討を行う。		

2 周知活動

(1) 市民に対する周知

- ア 早期療育事業等の利用児をはじめとする小学校就学前の子どもの保護者に対し、子ども・若者総合サポートシステム及びすまいるファイルについて周知
- イ 早期療育事業利用者や加配対象児の保護者へすまいるファイル「支援の記録」の活用
の周知

(2) 関係機関に対する周知

- ア 保育所や関係機関の実務者に対し、支援が必要な子どもに関するすまいるファイルの活用について周知ならびに登録者の情報提供
- イ 小中学校の特別支援コーディネーター等を対象に、子ども・若者総合サポートシステムの運用及びすまいるファイル活用について周知

3 研修会・講演会

題名		月 日	場 所	内 容 等	参加 予定人数
発達応援セミナー	第 1 回	7 月 28 日	下田体育館	演 題： 発達が気になる子の「いいところ」応援計画 ～支援の鍵はリフレーミング～ 講 師：阿部利彦 氏 (星槎大学大学院 准教授) 対象者：小・中・特別支援学校教職員 幼稚園・保育所（園）職員	300 人
	第 2 回	未定	総合福祉 センター	演 題：未定 講 師：未定 対象者：市民	150 人
専門研修会		未定	未定	就学後の障がい児支援に関するテーマ 対象者：実務者等	50 人